

平成 22 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
(J A S D A Q ・ コード番号 2694)
問合せ先 常務取締役 川上 一郎
(TEL . 022 - 237 - 5566)

株式会社ジー・テイストによるフード インクルーヴ株式会社の吸収合併に関するお知らせ

当社（株式会社ジー・テイスト：以下、「ジー・テイスト」といいます。）及びフード インクルーヴ株式会社（以下、「フード インクルーヴ」といいます。）は、平成 22 年 5 月 27 日開催の取締役会において、吸収合併契約（以下、「本吸収合併契約」といいます。）の締結を決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本吸収合併契約が、平成 22 年 6 月 24 日開催予定の両社株主総会において承認可決されることを条件としております。

記

1. 合併の目的

当社は、「平禄」、「仙台平禄」等寿司業態を東北、関東地方を中心に直営 87 店舗を展開する他、平成 17 年 7 月に株式会社ジー・コミュニケーションと資本業務提携した後、平成 17 年 8 月、居酒屋業態「とりあえず吾平」の直営及び F C 展開していた株式会社ゼクーの譲受、平成 21 年 8 月、同じジー・コミュニケーショングループである株式会社グローバルアクトの吸収合併等により業容を拡大し、外食部門においては直営店舗を 235 店、F C 店舗を 134 店の合計 369 店舗（平成 22 年 3 月 31 日現在）を有し、様々な業態にて全国展開をしております。

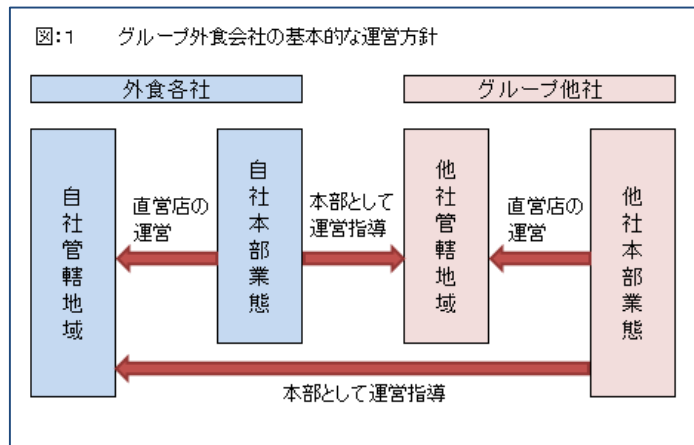
今般、吸収合併決議を行ったフード インクルーヴは、「村さ来」を中心とする居酒屋の F C 店舗の全国展開を主に行っており、F C 展開中の居酒屋業態の外食企業の中でも知名度の高い老舗企業であります。平成 22 年 5 月 20 日に、当社の親会社である株式会社ジー・コミュニケーションがフード インクルーヴの発行済み株式の 100% を取得し、新たにジー・コミュニケーショングループ入りをいたしました。その後フード インクルーヴの経営資源を、より効率的に運営をするためのグループの再編を検討した結果、主に以下 3 点の理由から、当社と合併することがフード インクルーヴの経営資源を最も効率的に運営できると判断し、本日当該決議をいたしました。

商品開発上の効率性

当社が運営本部である「とりあえず吾平」はデフレ環境下に比較的強いロープライス業態であります。また、フード インクルーヴが展開している「村さ来」業態もロープライスゾーンの居酒屋業態であり、「とりあえず吾平」は郊外型、「村さ来」は街中型といった立地の違いはあるものの商品の価格帯や食材等多くの共通点があります。したがって、メニューコンセプトを一部共有化することにより双方の業態でメニューの幅が広がるなど、付加価値の高い店舗運営が可能となると判断いたしました。

営業エリアの重複

グループ内の外食企業においては、それぞれ業態及び管轄地域があり、自社業態、及びグループ業態を自社管轄地域で直営店として営業しているほか、他社管轄地域において、地域管轄会社とライセンス契約を締結し、FC本部として自社業態の営業支援を行っております。【図1参照】



ジー・テイストは東北地方、北海道、関東地方、北陸地方を主な自社管轄地域として自社の直営業態を運営するほか、他のグループ業態をライセンス運営しております。フードインクルーヴの運営する直営店舗の80%、FC店の約80%は当社の管轄地域で運営していることから、直営店の運営管理、FC店のスーパーバイジング等の人的資源の効率性から判断いたしました。

管理部門の効率化

当社においては前事業年度の株式会社グローバルアクトと合併を通じて管理部門の効率化ノウハウを構築しており、合併によるシナジー効果が単に営業面の効率化のみならず、間接部門の効率化を図ることにより、付加価値のさらなる増加が見込まれると判断いたしました。

以上のように、上記、の経営資源の共有や間接部門のコスト削減による利益率向上を実現し、また、いち早く「村さ来」業態の出店加速によるシナジー効果の実現のために、自己資本の増加による財務体質の強化を図ることのできる当社による吸収合併がもっとも適切と判断いたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併決議取締役会	平成22年5月27日
合併契約締結	平成22年5月27日
合併承認時株主総会(ジー・テイスト)	平成22年6月24日(予定)
合併承認臨時株主総会(フードインクルーヴ)	平成22年6月24日(予定)
効力発生日	平成22年7月1日(予定)

(2) 合併方式(予定)

ジー・テイストを存続会社とする吸収合併とし、フードインクルーヴは解散いたします。

(3) 合併に係る割当の内容

	株式会社ジー・テイスト (合併会社)	フードインクルーヴ株式会社 (被合併会社)
合併比率	1	12.20
合併により 発行する新株式数	普通株式: 5,124,000株	

注: フードインクルーヴ株式会社の株式1株に対して、株式会社ジー・テイストの株式12.20株を割当て交付する。

合併に伴い交付される株式総数	5,124,000株
うち合併に伴い新たに発行される株式数	5,124,000株
うち自己株式から割当に充当する株式数	-株

(4) 合併に係る割当の内容の算定根拠等

算定の基礎及び経緯

ジー・テイスト及びフード インクルーヴは合併比率の公正性を担保するべく、ジー・テイストは公認会計士藤田隆大事務所、フード インクルーヴは松山公認会計事務所を第三者算定機関として選定し、それぞれ合併比率の算定を依頼いたしました。

公認会計士藤田隆大事務所は、ジー・テイスト株式会社には市場価格があることからマーケット・アプローチである市場株価法による算定を行う一方、フード インクルーヴは赤字を計上していること、また規模が上場企業と比較して小規模であり、類似する上場企業の選定が困難であることからマーケット・アプローチではなく、インカム・アプローチであるDCF方式を採用し企業価値を算定いたしました。ジー・テイストの算定方法である市場価格法については平成 22 年 5 月 19 日を基準日として、基準日、基準日から遡る 1 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月間の終値平均及びジー・テイストの平成 22 年 3 月期の決算短信公表後の翌営業日から算定基準日までの終値平均を採用いたしました。また、フード インクルーヴの算定方法であるDCF法については事業計画等の将来情報に基づく評価であることから客観性が問題となる可能性があるため事業計画による将来キャッシュ・フローと過去の実績を基にするキャッシュ・フローの両方を加味し企業価値を算定することといたしました。

その結果、合併比率は、1 : 11.60 ~ 14.87 と算定されております。この算定に際して、公認会計士藤田隆大事務所は、両社から提供を受けた情報または合併当事者から協議を通じて受領した情報に依拠し、それらが正確かつ完全であることを前提としたものであり、独自にその正確性や完全性について検証を行っておりません。

松山公認会計士事務所はジー・テイスト株式会社には市場価格があることから市場株価法による算定を行う一方、フード インクルーヴは未公開会社のため企業価値が最も理論的に評価される算定方式である収益方式を採用することが妥当なものと判断し、対象会社の企業価値の評価にあたってはDCF方式を採用し算定いたしました。ジー・テイストの算定方法である市場株価法については平成 21 年 11 月 16 日から平成 22 年 5 月 14 日までの 6 ヶ月間の終値平均を採用いたしました。また、フード インクルーヴの算定方法であるDCF法については事業計画及び継続価値を採用し算定いたしました。その結果、合併比率は、1 : 12.129 ~ 18.118 と算定されております。この算定に際して、松山公認会計士事務所は、両社から提供を受けた情報または合併当事者から協議を通じて受領した情報に依拠し、それらが正確かつ完全であることを前提としたものであり、独自にその正確性や完全性について検証を行っておりません。

ジー・テイスト及びフード インクルーヴは、両社の第三者算定機関による算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案して、両社で合併比率について、慎重に協議を重ねた結果、平成 22 年 5 月 27 日付にて普通株式に関する合併比率は 1 : 12.20 が妥当であるとの判断に至り、合意いたしました。

算定機関との関係

ジー・テイスト及びフード インクルーヴは第三者機関との間に特記すべき利害関係は有しておりません。

(5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付き社債に関する取り扱い

消滅会社は、新株予約権を発行しておりませんので、該当事項はございません。

3. 合併当事会社の概要

	(平成 22 年 3 月 31 日現在)	(平成 22 年 3 月 31 日現在)
(1) 商 号	株式会社ジー・テイスト (合併会社)	フード インクルーヴ株式会社 (被合併会社)
(2) 事業内容	寿司業態、居酒屋業態等のチェーン展開 及びフランチャイズ加盟店への商品販売	居酒屋業態等のチェーン展開 及びフランチャイズ加盟店への商品販売
(3) 設立年月日	昭和 34 年 11 月 25 日	昭和 51 年 12 月 22 日
(4) 本店所在地	仙台市若林区大和町五丁目 33 番 18 号	東京都中央区日本橋人形町三丁目 5 番 9 号
(5) 代表者	代表取締役社長 稲吉史泰	代表取締役社長 加藤清司
(6) 資本金の額	1,274,628 千円	446,000 千円
(7) 発行済株式数	53,100,201 株	420,000 株
(8) 純 資 産	6,345,134 千円	101,738 千円
(9) 総 資 産	13,042,044 千円	2,387,619 千円
(10) 決 算 期	3 月 31 日	3 月 31 日
(11) 従 業 員 数	495 名	55 名
(12) 主要取引先	一般顧客、F C 加盟店	一般顧客、F C 加盟店
(13) 大株主及び 持株比率	株式会社ジー・コミュニケーション 49.73% ジー・テイスト取引先持株会 2.36% 江川春延 1.35% 株式会社生活考房 1.06% 江川進興 0.85% 株式会社七十七銀行 0.61% 東 金次 0.41% 第一生命保険株式会社 0.31% 明治安田生命保険相互会社 0.27% 株式会社学書 0.26%	株式会社ジー・コミュニケーション 100.00% (平成 22 年 5 月 27 日現在)
(14) 主要取引銀行	七十七銀行、三菱東京 UFJ 銀行、常陽銀行、三井住友銀行、みずほ銀行	三菱東京 UFJ 銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行
(15) 当事会社間の 関係等	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	当社の取締役 2 名がフード インクルーヴの取締役を兼任しております。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該当状況	当該会社は、当社と同一の親会社を持つ会社であるため、関連当事者に該当します。

(16) 最近 3 事業年度の業績

回 次	株式会社ジー・テイスト			フード インクルーヴ株式会社		
	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期
決 算 期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期
売 上 高 (千円)	14,050,840	13,429,325	15,966,552	3,710,179	3,430,500	3,015,795
営 業 利 益 (千円)	964,629	596,196	263,655	152,443	15,805	71,355
経 常 利 益 (千円)	1,123,548	786,516	401,258	240,029	103,736	34,955

当期純利益 (千円)	1,021,222	34,435	292,473	239,282	935,104	160,389
1株当たり 当期純利益 (円) ¹	27.44	0.93	6.69	1,087.65	3,039.30	381.88
1株当たり 配当金 (円) ^{1, 2}	3.00	3.00	1.50	-	-	-
1株当たり 純資産 (円) ³	125.17	123.04	119.49	2,719.07	624.45	242.23

1. 期中平均株式数を算定の基礎としております。
2. 平成22年3月期の両社の1株当たり配当金の額は予想値です。
3. 期末発行済株式数を算定の基礎としております。

4. 支配株主との取引に関する事項

本取引は支配株主との取引に該当いたします。

(1) 支配株主の商号等

平成22年3月31日現在

会社等の 名称	資本金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権の数(所有割合(%))			支配株主 との関係	発行する株券が上 場されている金融 商品取引所等
			直接保有 分(2)	合算対象 分(1)	合計		
株式会社 ジー・コミュニ ケーション	3,754	グループホールディングカンパニ ー・コンサルティング・デザイン 施工事業	264,084 (49.83)	-	264,084 (49.83)	親会社	-
株式会社 フーテイス	126	飲食店の開業支援	-	264,084 (49.83)	264,084 (49.83)	親会社	-

- 1: 間接所有分の議決権割合を記載しております。
- 2: 平成22年3月31日現在の支配株主の議決権個数をもとに当該取引後の株式会社ジー・コミュニケーションの保有する議決権を算出すると315,324個(54.25%)となります。

(2) 支配株主との取引についての考え方

取引に係る意思決定手続の正当性についての考え方

当社と支配株主との取引につきましては、一般の取引と同様に取締役会において取引の是非を決定しております。

取引の合理性や取引条件の妥当性についての考え方

当社と支配株主との取引につきましては、適正な条件のもとに行うことを基本方針とし、取引内容の合理性及び妥当性について取締役会において審議の上、取引の是非を決定しております。

取引の問題性に関する考え方(問題の有無についての認識)

当該取引は、ジー・テイスト及びフードインクルーヴの両社がそれぞれ第三者機関に依頼した算定結果を基に取締役会において当該取引条件の合理性及び妥当性を審議の上決議しております。したがって、当該取引は少数株主保護の観点から問題はないと考えております。

5. 合併後の状況

(1) 商号	株式会社ジー・テイスト
(2) 事業内容	寿司業態、居酒屋業態等のチェーン展開、及びフランチャイズ加盟店への商品販売
(3) 本店所在地	宮城県仙台市若林区大和町五丁目 33 番 18 号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 稲吉 史泰
(5) 資本金の額	1,274,628 千円
(6) 純資産	未定（現時点では確定しておりません）
(7) 総資産	未定（現時点では確定しておりません）
(8) 事業年度の末日	3月31日
(9) 会計処理の概要	本合併は「企業結合に係る会計基準（企業会計審議会平成 20 年 12 月 26 日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 10 号 平成 20 年 12 月 26 日公表分）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。
(10) 今後の見通し	本合併に伴い、両社の業態の展開の加速、管理部門の効率化など収益性の向上及びコスト削減が見込まれますが、業績への影響額及び合併後の見通しにつきましては、現在精査中であり、詳細が確定次第、改めてお知らせいたします。
(11) その他	本合併は、両社株主総会における承認の条件が充足されることを前提としております。

以上